

平成30年度

大妻女子大学 新入生アンケート調査報告書

平成30年度入学生の皆さんには、入学前にアンケートを実施しました。
ここでは、その調査結果の概要を分かりやすくご報告します。
このアンケートで得られたデータは、皆さんの学生生活や教育の質の向上に生かしていきたいと思えます。
新入生の皆さん、ご協力ありがとうございました。



スクールキャラクター
「おーたん」

調査の概要

(1) 調査方法

調査は、個別自記入式のマークシートで実施しました。

(2) 実施期間

平成30年3月16日～4月12日でした。

(3) 調査対象者

調査対象者は、平成30年度入学の決まった新入生2132名で、今回は、このうち回答の得られた2102票の集計結果になります。

🌸 出身高校の所在地をおたずねしました。

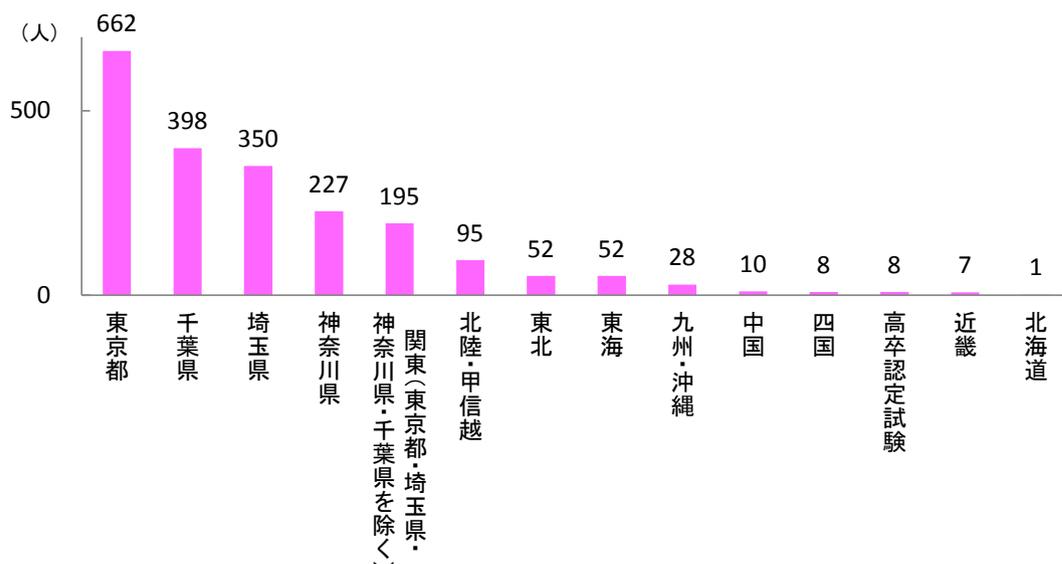


図1 出身地（出身高校の都道府県）（n=2098）

東京都出身の学生さんが31.5%ともっとも多く、次いで千葉県(18.9%)、埼玉県(16.7%)、神奈川県(10.8%)、関東(9.3%)となりました。



自宅から通う学生さんがほとんどですね。一人暮らしが195名、学寮生活が118名います。

🌸 入学後の居住形態をおたずねました。

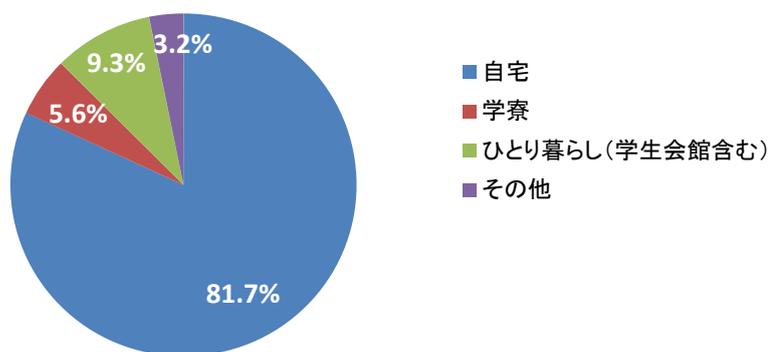


図2 入学後の居住形態（n=2098）

入学時の志望についておたずねしました。

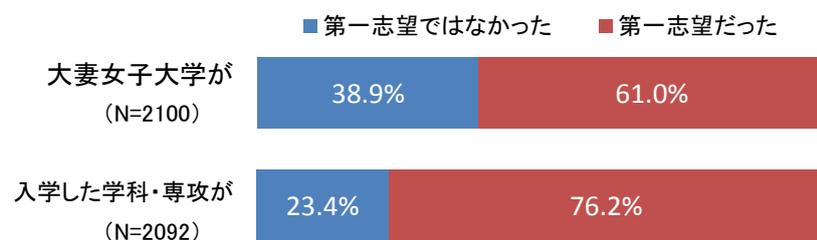


図3 入学の志望

大妻女子大学を第一志望で入学された学生さんは6割でしたが、8割弱の学生さんが、学びたい学科・専攻に入学しているようです。



大学への入学満足度についておたずねしました。



図4 大学への入学満足度 (n=2099)

9割の学生さんが大妻女子大学への入学に満足していると答えてくれました。学年が上がっていくにつれて、満足度が上がっていくといいですね。



❁大学生になる理由についておたずねしました。

表 1 大学生になる理由

内容	第1位	第2位	第3位
	n=(2097)	n=(2095)	n=(2089)
学んだことを、将来の仕事に生かしたい(社会的安定)	37.8%	21.3%	12.1%
学歴がないと、就職先に困る(報酬志向)	32.2%	22.6%	22.9%
いろいろな知識を身につけた人になりたい(充実志向)	17.2%	30.4%	23.5%
みんなが大学に進学するから(他者追随)	5.0%	7.6%	9.9%
大学を出ないと、自信をもって生きていけない気がする(自尊志向)	3.3%	10.3%	14.0%
親が大学に進学することを望むので(親の期待)	1.0%	3.4%	6.9%
勉強することは、頭の訓練になるから(訓練志向)	0.3%	2.4%	6.9%
その他	2.9%	1.6%	3.2%



皆さんは、なぜ大学生になったのでしょうか？その理由を第1位から第3位までたずねました。

もっとも多かったのは、「学んだことを、将来の仕事に生かしたい」という社会的安定を求める理由でした。「学歴がないと、就職先に困る」という報酬志向も多くの学生さんが理由の第1位として挙げていました。第2位には、「いろいろな知識を身につけた人になりたい」という充実志向や、「大学を出ないと自信をもって生きていけない気がする」という自尊志向が出てきました。

まずは“生活の安定”，次に“自分自身の目的”という結果ですね。

❁大学入学後やりたいことについておたずねしました。

表2 大学入学後やりたいこと (n=2023~2070)

内容	第1位	第2位	第3位
大学の授業	55.8%	16.1%	9.3%
友人との交流	15.8%	21.0%	23.6%
部活やサークル活動	12.8%	17.6%	18.9%
大学で出された課題	5.3%	19.1%	6.8%
アルバイト	5.2%	16.5%	25.6%
大学以外での勉強	1.4%	4.4%	4.8%
恋人との交際・恋愛	1.0%	3.1%	5.5%
大学院進学のための勉強	0.4%	0.4%	0.5%
家の手伝い	0.2%	0.2%	1.3%

大学生になったらやりたいことを第1位から第3位までたずねました。

もっとも多かったのは、「大学の授業」でした。第2位は「友人との交流」「大学で出された課題」「部活やサークル活動」が挙げられました。第3位は「アルバイト」「友人との交流」が多く選択されました。

学業⇒仲間との交流⇒アルバイトという優先順位になっているようですね。



❁大学入学後の心配事についておたずねしました。

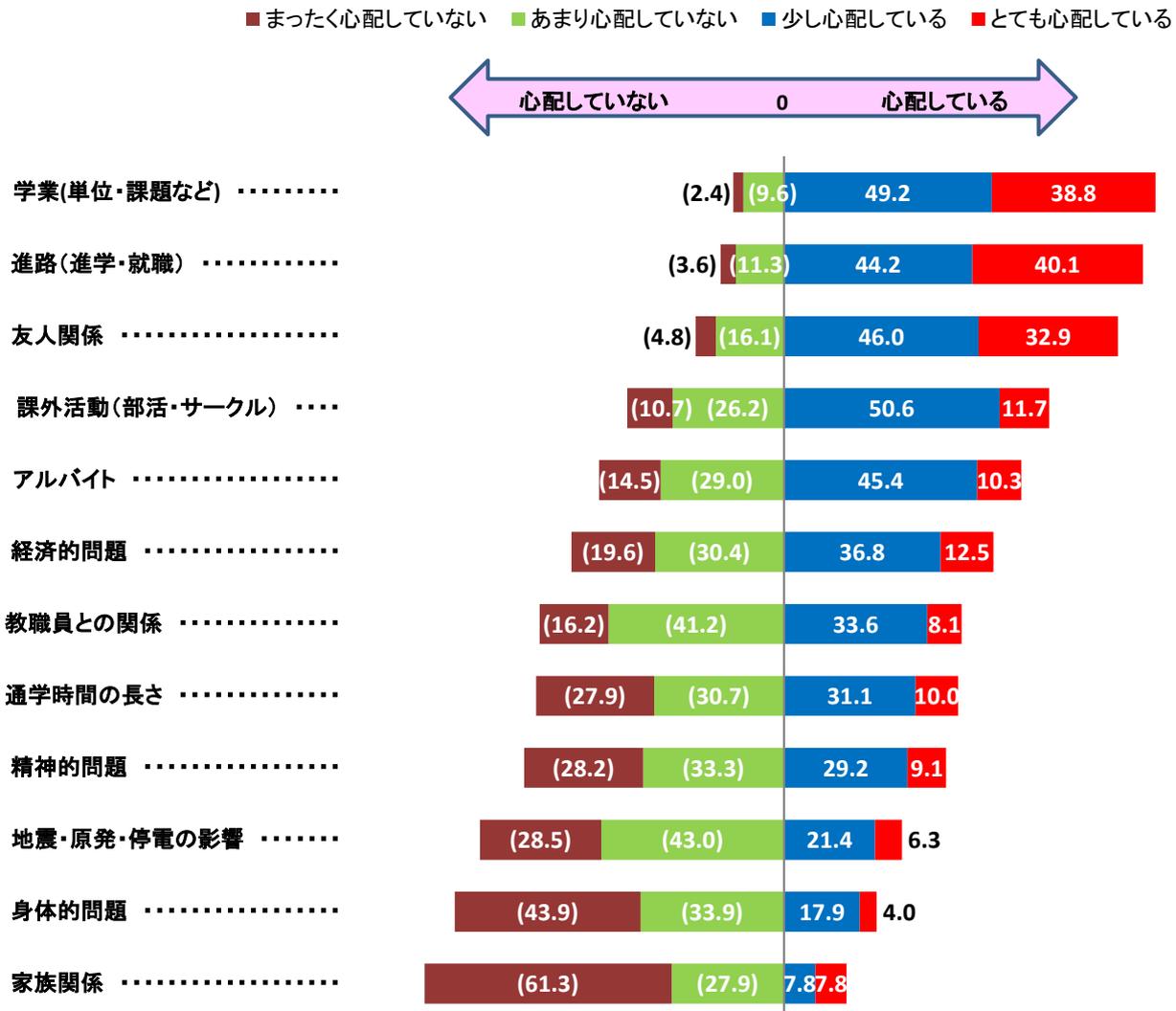


図5 大学入学後の心配事（％，n=2084～2101）

9割近い、ほぼ全員の皆さんが心配しているのが「学業(単位・課題)」と「進路(進学・就職)」でした。次に多かったのが「友人関係」およそ8割の人が心配していました。「家族関係」「身体的問題」の心配がもっとも少なくなっていました。



❁皆さんの日常生活スキルについておたずねしました。

■ あてはまらない ■ あまりあてはまらない ■ ややあてはまる ■ あてはまる

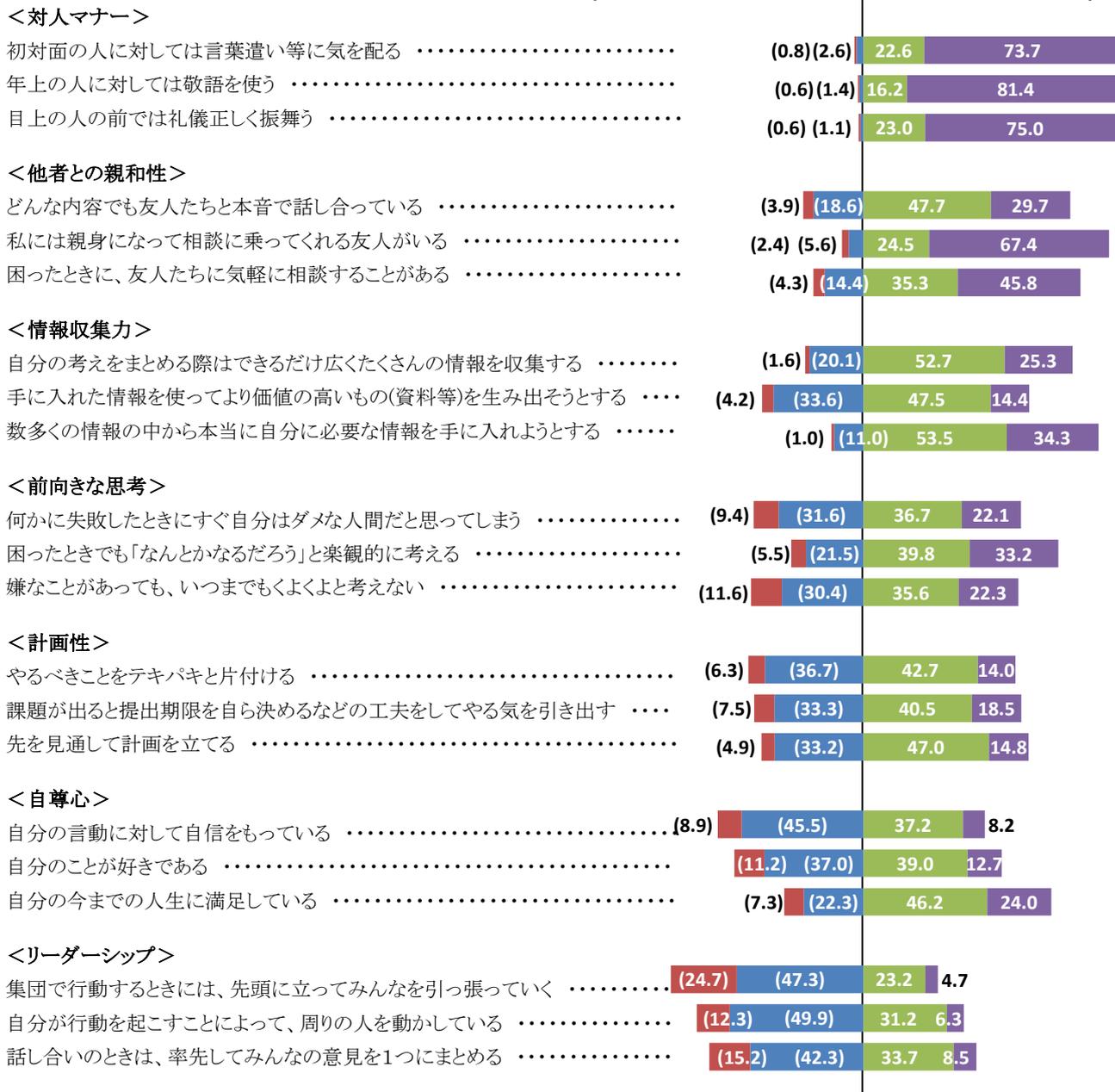
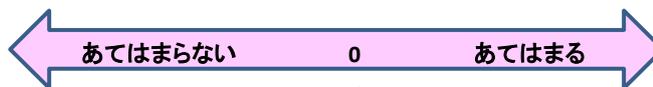


図6 日常生活のスキル (% , n=2094~2101)

大妻生は、「対人マナー」「他者との親和性」のスキルが高いようですね。一方、「自尊心」「リーダーシップ」といった積極的に前に出ていく部分が低く、やや控えめに行動する傾向があるのかもしれませんが。



以上です。

あとがき

平成30年度の新入生アンケートの回答に御回答をいただき、まことに感謝にたえません。

今年(平成30年度、2018年)ということですから、いわゆる「2018年問題」の年です。受験生が少子化傾向のなか激減して、多くの大学が頭を抱える年です。それから丁度百年前に第一次世界大戦が終わった年。とても妙な具合に、だから女性に選挙権が与えられた年。去年、18才男女に選挙権という大ニュースが流れた時、この百年のことかと思った人がどれだけいるでしょう。政治的には皆さんの「意識」が問題になったのはこの百年のことなのです。その百年前にこの大妻女子大学も生まれています。いろいろ因縁深いタイミングの本学今回の学生の「意識」調査でありました。政治からSNSまで時代の大波にもまれていく皆さんの日々の「意識」の大変さに(七十老人には一寸無理ですが)心からの共感を！

おかげさまで、長く目を通したいアンケート結果の報告書ができあがり、みなさんが抱えている大学生活への期待や不安、生活の状況や意識など、全体的傾向を把握することができました。入学時のあわただしい時の丁寧で実直なみなさんの御回答にあらためてあつく御礼申しあげます。どうもありがとうございます。

平成30年6月26日
大妻女子大学大学教育推進機構
機構長 高山 宏

平成30年度

大妻女子大学新入生アンケート調査報告書
(学生版)

発行日 平成30年6月26日

編集・著作者 大妻女子大学大学教育推進機構

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地